



須々万中だより

第5号 令和4年6月15日

周南市須々万本郷 10362番地の5

TEL 0834-88-0021

1 地域との連携―第1回小中合同学校運営協議会の開催―

6月9日（木）、須磨小学校、沼城小学校、須々万中学校の学校運営協議会委員による小中合同の学校運営協議会を、本校で開催しました。2年ぶりの開催です。日中にもかかわらず、33人の参加です。学校に対する委員の熱い思いを感じる会となりました。（右写真）会では、須磨小学校会長：兼子敦三さん 沼城小学校会長：有馬孝志さん 須々万中学校会長：飯田唯志さんを中心に、会が進められました。以下のような内容です。



（1）地域の子供の学ぶ姿を見よう―須々万中学校全学年の授業参観―

（2）ふるさとを愛し、将来地域に貢献しようとする意識を高めよう

―「小中学校9年間の学びのカリキュラム」と、各学校の取組について―

「地域の子が、どんなふう to 成長しているか、やっぱり見たいです。友達といっしょに、がんばっている姿に安心しました。」

「タブレットを使ったり、話し合ったりする姿など、学びの姿を直接見ることができてよかった。」

参観後の協議では、このような意見が多く出されました。子供の学ぶ姿を地域の方に見ていただくことが、学校と地域が一緒になって子供を育てる第一歩だと改めて思います。

須磨小学校、沼城小学校、須々万中学校は、「地域の学校」です。子供たちは、本校の生徒であるとともに、地域の子供です。本校の保護者の方も、地域住民です。小中学校の教職員が、保護者の方と信頼関係を大切にすることは、地域との信頼関係を大切にすることなのです。私たちは、「地域の学校に勤めている」ということを忘れないようにしたいものです。

また、須金中学校、中須中学校、翔北（長穂）中学校、向道中学校が閉校になり、6地区の地域の子供たちは、須々万中学校にスクールバスやタクシーで通うようになりました。それゆえ、6地区の地域の方に、さらに「須々万中学校への愛着」をもっていただくことが、本校の教育を進めていく上で、とても大切だと改めて思います。

2 9年間の学びのカリキュラム―小中合同による須々万農園づくり―

「ふるさとを愛す子供を育てたい」という目標実現のために、「9年間の学びのカリキュラム」を作成しています。（裏参照）その取組の一つとして、

「タマネギ」と「黒豆」づくりです。先日、児童生徒の手でタマネギを収穫するとともに、須々万地区の特産である黒豆を植えました。（右写真）今後、各地区の特産を、この農園づくりに反映していきたいと考えています。



3 周南地区選手権大会予選会が行われました。

6月11日（土）、12日（日）に周南地区選手権予選会が行われました。県・中国・全国大会につながる最も大きな大会です。また、3年生にとっては、最後の市内大会になりました。どの部も最後まで粘り強くがんばりました。以下、大会結果です。

・軟式野球部 2－7周陽中学校（1回戦）・バレーボール部女子 0－2秋月中（1回戦）

・卓球部 男子（リーグ戦8チーム中4位）

女子（春季県大会でベスト8のため、団体県大会出場 個人4名県大会出場）

・バスケットボール女子（リーグ戦2敗）

・剣道部男子2位（団体県大会出場）女子3位（団体県大会出場）